

令和元年度 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目		改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	はい デイルーム、ホール、リハビリ室など十分な活動スペースがあります。また、同法人が管理する体育館や施設、設備も等活用し、活動を行っています。
	2	職員の配置は適切であるか	はい 基準よりも多い人員を配置しています。また、従業者は保育士又は児童指導員の資格を有しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい 手すり、スロープ、クッションフロアなど、バリアフリー化しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	はい 毎月の会議の中で話し合っています。
	5	保護者等向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	はい アンケート結果をもとに改善が必要な部分においては検討し、改善をおこなっていきます。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等に公開しているか	はい 評価アンケートと自己評価の結果はお便りにて家庭に配布し、当法人のHPにも公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	いいえ 今後、第三者評価の実施について検討していく予定。
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい 外部研修、内部研修参加の機会を確保しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい ・年度初めに家庭環境調査票を配布し、記入をお願いし、また日々の連絡帳のやりとり、面談やお電話連絡などを通じて要望等を伺っています。その上で、計画作成を行い、半期ごとに評価を実施しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい 基本のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい 日々、ミーティングを行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい 屋外での体験活動などを取り入れて工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	はい 休日、長期休暇中は利用時間も長くなるため、一日の活動にメリハリをつけることと長期休暇中は課外体験活動などを企画し行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい 必要に合わせて個別対応を行い、集団活動にも参加出来る様に対応、支援を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい 各自、日誌確認を行いや引継ぎ事項等についてミーティングしています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検討・改善につなげているか	はい 日々終了後、利用児個々の様子を日誌に記録し、スタッフ間で記録の回覧をし、一か月ごとに様子をまとめて会議を行っています。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	はい 年度初めにアセスメントをおこない、計画作成し、半期ごとにモニタリング評価を行っています。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい 自立支援と日常生活の充実を基本に必要な力をつけていけるような支援を行っています。
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	はい 基本的には管理者、または児童発達管理責任者が参画しているが、子どもの状況についてはスタッフ間で確認し合っているので、どのスタッフでも参画できるようにしています。
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	はい 学校送迎時に担任の先生からの引継ぎや情報交換を行っています。必要に合わせて、学校見学をお願いしたり、見学を受け入れています。
	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	どちらともいえない 現在、医療的ケアが必要な対象児がいません。主治医との連絡が必要な場合、体制整備を行っています。

関係機関や保護者との連携	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	どちらともいえない	現在、対象児がいません。今後、情報共有と相互理解に努めて行きたいと思えます。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	はい	相談支援事業所や移行する事業所等からの依頼があれば、必要な情報提供を行っています。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	いいえ	個別のケースにて助言を受けたことはあるが、事業全体では専門機関との連携はしていません。研修には参加できる機会を設けていきます。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	いいえ	交流の機会を設定したり、連携はないが、近隣の公園等で一緒に遊ぶなどの機会はあります。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	はい	北後志自立支援協議会の子ども支援部会に参加しています。
	27	日頃から子どもとの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい	連絡帳を活用してお子さんの様子について伝え合っています。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	どちらともいえない	ペアレント・トレーニング等を行っていないが、困りごとに対し、家庭での対応方法、事業所内での対応方法を伝え合っています。
	29	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	はい	契約時に説明を行っています。ご家庭から質問等があれば、都度説明を行っています。大きな変更の際は書面等でお知らせしています。
	保護者への説明責任等	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい
31		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	はい	茶話会を実施いたしました。保護者同士が集まる機会は少ないので、今後機会を増やしていけるようにします。
32		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	法人全体で苦情解決委員会を組織し、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置しています。重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
33		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	どちらともいえない	会報は不定期での発行であるが、活動の様子や行事予定などは連絡帳に記載し、活動中の写真など使って製作を行い持ち帰ってもらっています。
34		個人情報に十分に注意しているか	はい	契約時に説明を行い、十分に注意しています。
35		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい	個別に対応をしています。
36		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	はい	法人のまつりや地域行事への参加、日常的に近隣店舗での買い物を行ったりしています。
37		緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	はい	マニュアル策定し、職員への周知を行っております。感染症の流行や災害の際の対応について便りを配布いたしました。周知には至っていないので、定期的にお便り等で周知していきます。
非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい	年1回以上避難訓練を行い、内部研修や地域の避難訓練にも参加しています。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい	法人全体で虐待防止委員会を組織し、毎月会議を行い、研修の機会も確保しています。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	はい	現在、対象児はいません。法人全体として身体拘束が認められる要件について周知しています。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	どちらともいえない	現在、対象児がいません。食物アレルギーの有無については保護者に確認しています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内共有しているか	はい	事例を記録し、改善案について検討し、法人内部の会議内でも報告し、周知しています。